

ファイザー製 新型コロナウイルスワクチン 副反応について



副反応はワクチン接種が原因で起こる反応のことです。

1回目より2回目接種後に、より強く起こりやすいですが、十分な免疫をつけるには2回接種が必要です。

■いつ副反応が出る？

接種した1～2日後に副反応が出現することがありますが、ほとんどは3日以内に回復します。

特に2回目接種後は発熱を含んだ副反応が起きやすいので、接種当日と翌日は、可能であれば安静に過ごすことをおすすめします。



■どんな症状？

主に接種部位の痛み・だるさ・頭痛・筋肉痛・発熱などがあり、発熱以外に悪寒や関節痛が出る場合もあります。

発熱時は、市販の解熱剤を使っても構いません。

ただし、他のお薬を飲んでいる場合はかかりつけ医などに相談してください。



■接種をした日は

○ 体調が良ければ、運転をしても問題はありません

○ 入浴はできます

× 激しい運動は避けてください

× 過度な飲酒は控えてください



【相談窓口】

●副反応についての相談など

大分県新型コロナウイルスワクチン副反応専門相談窓口

☎097-506-2850

※24時間対応・土日祝日可

●体調が回復しない場合

接種を受けた医療機関やかかりつけ医へ相談

※保険診療となるため費用は本人負担が生じます。

発現の割合	主な副反応
50%以上	接種部位の痛み だるさ 頭痛
10～50%	筋肉痛 悪寒 関節痛 発熱 接種部位の腫れ
1～10%	吐き気

※2回目の方が発現が高くなる症状もあります。